

近藤：

皆さん、ご苦労さまです。ありがとうございます。

昨日 WBC だったので、今日、重ならなくて良かったです。昨日だったらこの時間、大騒ぎで、誰も来ないんじゃないかと。今日は、無事、ラインナップの発表をしていきたいと思います。

今回は、今紹介いただいたとおり、大規模改修真っただ中なので、ここ、埼玉会館をベースで、今動いております。

あらためて、僕は、埼玉芸術劇場の、去年の 4 月から芸術監督をしている、近藤です。よろしくお願ひします。

去年から、クロッシング、ジャンル・クロスということで、地域とクロス、人々をクロス、ジャンル・クロスということで、アートを結びつけようということでやってまいりました。

今年はさらに、大規模改修の中で、さっきもちょっと言っていました、「埼玉回遊」という名前をつけて、各地を回ろうとっております。そのキャッチフレーズを紙の表のところに書きましたけど、「さあ、出かけよう。」と。旅のパンフレットみたいな感じですけど、そんな気分で、今日はこんな格好をしています。「さあ、出かけよう。」という合い言葉で、県内各地に飛び出して、プログラムを展開していきたいなと思っております。

では、〈芸術監督企画〉としてどんなことがあるかを簡単に説明しますね。

2023 年度からは、「埼玉回遊」が始動します。これは、僕自身が埼玉のいろんな地域をめぐりまして、その土地に生まれた人やもの、歴史、自然、生活、多様な、多彩な文化を訪ね歩いて、その出会いから、一つのパフォーマンスであったり、一つのアート作品みたいなものを探っていこうという思いで、埼玉回遊という名前をつけました。

ちょっと大げさですけど、「新しい埼玉の民俗誌を編む」と、そんな心意気でおります。

埼玉回遊は、この 4 月から、公に募集しまして、他薦で人を紹介していただいたり、ものを紹介していただいて、そこに訪れていくというちょっと、何というんですかね、「出会い」を重視した形で始動しようと思っております。

もう一つ、〈芸術監督企画〉としてはですね、昨年 10 月、休館のちょっと前に、ジャンル・クロスをテーマとしたワークショップを、「ワークショップ・アラカルト」という名前でやりました。この 2023 年度は、そのワークショップ・アラカルト自体を、各地、地域を回って探っていきたい、やっていきたいと思っております。

これは、次の2024年度の新シアターグループ設立のための準備の位置づけでもありますので、それをするために、いろいろな人、多様な人たちにお会いしてみたいなど、ワークショップを通してですね。この2023年度はそういうことを各地でやっていきたいと思っております。

〈地域に出かけるプログラム〉として、このほかに、マームとジプシーの藤田貴大さんの、子どもと大人と一緒に楽しむ人気演目の、『めにみえない みみにしたい』、こんな作品もですね、埼玉会館のほか熊谷市など、全国11箇所を回ります。

あと、リトアニアのダンス・シアター、これは不思議なダンス作品なのですが、『カラフルパズル』という作品を、埼玉の地域、東松山市、白岡市で上演します。

与野本町の劇場ではお馴染みになっているポジティブ・オルガンですが、それを川越などに出張していきたいと思っております。

埼玉会館から、この場所から今回は発信ですので、ここでやることもあります。

例えば、もう、すぐに、コンドルズのコンドルズ埼玉新作公演をやります。ダンス関係ではオハッド・ナハリン／バットシェバ舞踊団ですね。バットシェバは、2020年、2022年と本当はやる予定だったんですけども、もう類に漏れず、コロナと重なってしまった関係で実現できなかったの、ぜひ、それを形にしていけます。それから、NHK交響楽団やバッハ・コレギウム・ジャパン、それらのクラシック音楽コンサートもあります。

そして、2024年、来年の3月、先ほど長期改修工事と言いましたけど、去年の10月から工事が始まって、2024年の3月には、与野本町の彩の国さいたま芸術劇場がリニューアルオープンしますので、実際は来年2024年の3月からスタートします。新しくなった場所で、僕自身も関わる埼玉回遊の1年間を過ごした集大成として、〈特大号！〉を3月に発表したいと思っています。

それから、ノゾエ征爾さんの演出による新作演劇もすぐに予定しております。

もう少し具体的に、2023年度ラインナップを、簡単に説明したいと思います。

〈地域に出かけるプログラム〉として、先ほども言いましたけど、埼玉回遊を4月からスタート、12月ぐらいまでかけて、県内各地を回りたくと思っています。それと同じように、ワークショップ・アラカルト、出張型ですね。それを4月から12月、これをやりたいと思っております。先ほど言ったダンス・シアター『カラフルパズル』、これが8月に、東松山市、白岡市で行われます。それから、光の庭プロムナード・コンサート、これは10月に川越で行われます。これもビッグな企画ですね。

〈埼玉会館・彩の国さいたま芸術会館で開催するプログラム〉ですね。

5月にコンドルズの埼玉公演、新作の『POP LIFE』があります。ぜひ来てください。7月、藤田貴大さんの、『めにみえない みみにしたい』、16日・17日ですね、埼玉会館を皮切りにやりたいと思っています。それから、大塚直哉レクチャー・コンサートは、この埼玉会館で行われます。7月です。NHK交響楽団、梅田俊明さんの指揮で、戸澤采紀さんのヴァイオリン。11月に行われます。バッハ・コレギウム・ジャパン、鈴木雅明さんの公演が12月17日、埼玉会館、ここで行われます。

それから、2024年、来年になります、1月に、オハッド・ナハリンの、さきほど言った、バットシエバ舞踊団の公演をやりたいと思っております。それから、大塚直哉レクチャー・コンサート、これは来年の2月、ここ埼玉会館でやります。ノゾエ征爾演出作品を3月、これは新しくなった、リニューアルした彩の国さいたま芸術劇場でやる予定です。それから、「さいたまダンス・ラボラトリ」として、これは彩の国さいたま芸術劇場のほうでやりたいと思っております。それから、近藤良平「埼玉回遊<特大号!>」として、3月の初め頃に、リニューアルした芸術劇場でやりたいと思っております。あと、金川真弓さん、小菅優さんのデュオ・リサイタル、これは彩の国さいたま芸術劇場で行います。「春陽狂言 万作・萬斎の世界」、これが3月23日です。それから、「光の庭プロムナード・コンサート」も芸術劇場のリニューアルオープンでやりたいと思っております、3月です。ダンス作品として、ノエ・スーリエの作品を3月29日・30日、芸術劇場で行いたいと思っております。

なお、シリーズ企画として、岩松了さんの劇作塾を、5月から開始して、2024年3月まで重ねていきたいと思っております。「パーキンソン病患者のためのダンス・プログラム」、これがオンラインクラス。このコロナ禍でオンラインに変えたんですが、それが非常によく、オンラインクラスを引き続きやりたいと思っております。「彩の国さいたま寄席 四季彩亭」はここ埼玉会館で、4月、7月、10月、そして来年3月と行います。

埼玉会館ランチタイム・コンサート。NHK交響楽団のメンバーによるトロンボーン四重奏、それからイシュトヴァーン・コハーン&アレッシンドロ・ベヴェラリ、(読み方が)難しいです…。クラリネットデュオ、9月です。それから上村文乃さん、チェロですね、来年の1月。東京交響楽団メンバーによるアンサンブル、来年の3月。これを行いたいと思っております。

彩の国シネマスタジオも、いつも与野本町でやっていたのですが、埼玉会館のこの場所でも引き続きやっていきたいと思っております。

これが全体の、2023年度のラインナップとなっております。よろしくお願いいたします。

僕もこの浦和という場所を全然知らなかったんですけど、浦和という場所を今、拠点に、いろんなものを見始めています。いろんなお祭りにも行ったり、ご飯を食べたり。

埼玉会館というのが、僕よりも前の時代…僕よりも前というんですけど、実はもう何年かすると100周年になるような場所でもあります。なので、引き続き、ずーっといろんなことが行われ続けてきました。

ましてややっとコロナの状況が少し明るくなって、劇場に行きたいし、僕もぜひ(劇場から外に出て)行きたいしということで、「さあ、出かけよう。」というテーマを考えました。

大谷さんじゃないですけど、「楽しく野球」っていう言葉がよく出てきましたけど、楽しくことを未来に向かっていろいろ挑戦してみたいなと思っております。

なので今回は、非常にシンプルではありますが、「さあ、出かけよう。」ということで、お会いする企画、そして皆さんともう一度会おう企画をラインナップしております。

よろしくお願いいたします。

ライブ字幕：チームW・研修センター